



葛巻高原宿泊体験協議会（くずまき高原牧場）

# 生命に触れ、命をいただく 「食」を通じて、生きる力を学ぶ



楽しい体験が  
いっぱい

葛巻町を知るキーワード



## クリーンエネルギー

牧草地の向こうに見える風力発電の風車は葛巻町を代表する風景の一つ。葛巻町では、風力発電、太陽光発電、水力発電のほか、畜産糞尿を原料としたバイオガスプラントなど、自然から得られ、環境負荷の小さい再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組んでいます。

## 牛の世話や乳搾り 牧場で酪農体験

北上山系にある葛巻町は、牛の数が約1万頭、牛乳の日産生産量が約100トンという東北一の酪農郷。日本一の公営牧場である「くずまき高原牧場」はグリーンツーリズムの拠点として、酪農体験等のプログラムを実施しています。

「ここで学んでほしいのは、食と命についてです」と、くずまき高原まきばの学校長・木村元思さんはいいます。

私たちが毎日のように、食事で摂取している肉や牛乳は牛の命と関わっています。しかし、衛生問題等があり、多くの牧場は立ち入りを制限しているため、それがどのようにつくられているかを学ぶ機会は少ないのが現状です。

「くずまき高原牧場では、“食の学校”として牧場を開放し、学ぶ場を提供しています。子どもたちは、選択体験で世話をした牛がいずれ肉になること、乳を出さなくなった乳牛は処分されることを知ると唖然とします」

その後、昼食においしい牛肉料理が提供され、感動とショックで複雑な気持ちになるでしょう。しかし、本物の体験をすることで、「命をいただくこと」と「命の尊さ」を考えるきっかけとなります。

「牛に触れ体温を感じることで、命を大切にすることが育まれ、相手の立場で考えられるようになり、お互いの命を尊重するようになります。また、生産の仕組みを知ることで、食を大切にすることが育まれます」

身をもって学ぶことで、命の大切さを感じることができます。